新石器時代の都市「チャタル・ヒュユク」

こう こがく しゃ 1958年、イギリスの考古学者がトルコで『チャタル・ヒュユク』を発見しま



↑トルコの場所

一つ目の特徴は、農業の発展です。チャタル・ヒュユクの人々は農業をして、食べ物を作っていました。彼らは「灌漑農業」をして、小麦や大麦を作ることができました。灌漑農業は、川や湖から畑まで、水の道を作って農業をすることです。これで雨があまり降らない時も、農業をして、食べ物を作れます。そして、安定した食料があるから、多くの人が生活できるようになりました。また、少ない人でたくさんの食べ物を作ることができるようになったので、

のうみん ほか ぼくし しょくにん 農民の他にも<u>牧師や職人</u>になどの仕事が出来ました。

二つ目の特徴は、家です。チャタル・ヒュユクの家は、家と家の間はほとんどありませんでした。そして、家には窓やドアがなかったです。ドアがないけど、人々は、屋根にドアをつけて、はしごを使って、外に出ました。どうして家と家の間が狭かったり、家に窓やドアがなかったりしたのでしょうか。



↑家の中

家に窓やドアがなかったら、敵が家に入るのは難しいです。もし、家の中に敵が入って来ても、次の家の中に入るために、また家を登らなければいけません。だから、敵は全員殺すことはとても難しかったです。このような家を作ったことによって、チャタルヒュユクの人は敵から守れました。

[●]遺跡=remains ●大麦と小麦=wheat and barley ●湖=lake ●畑=a farm●牧師=priest ●職人=artisan

[●]屋根=roof ●はしご=ladder ●狭い=narrow

次の質問に答えましょう。
1. 灌漑農業とは何ですか。絵と文章を書いて説明して下さい。
2. チャタル・ヒュユクの特徴は何ですか。2つ書きます。
②
3. チャタル・ヒュユクの人はどうやって敵から守りましたか。